



第4回がん患者大集会 北海道ブロックプレイベント

平成20年10月19(日) 北海道がんセンター大講堂

都道府県がん対策推進計画が策定されて、実施に向けて動き始める初年度にあたり、第4回がん患者大集会は、どこに住んでいても誰でも最善・最良の治療を受けられるように、地域からがん医療を変えていくための課題を明らかにしようと、「考えよう！私たちの町のがん医療」というテーマで、11月30日、国立がんセンターがん対策情報センターのテレビ会議システムを活用し、全国9ブロックの中継地点にて同時開催いたします。

それに先立ち、北海道、東北、関東、北信越、中部、関西、中国、四国、九州の9ブロックは、それぞれの私たちの町のがん医療を考えるためのプレイベントを開催しています。このプレイベントでの意見や同時に実施されるアンケート結果は、11月30日に報告されます。

本日は、私たちの町、北海道のがん医療を皆様とともに考えてみたいと思います。

本音で語ろう

患者の立場・医療者の立場

北海道のがん医療・がん対策

13:00 会場

13:30 開演

第1部 講演 「ガン医療の中で患者ができること」

本田麻由美氏：読売新聞記者、厚生労働省がん対策推進協議会委員。2002年に乳がんの告知を受け、数度の手術を受ける。現在も患者としての視点を生かした記事を執筆中。

休憩(10分)

14:40 第2部 座談会 「考えよう、北海道のがん医療・がん対策」
患者、医療関係者の皆さん

16:00 閉会

主催：第4回がん患者大集会 北海道ブロック実行委員会

共催：骨軟部腫瘍の患者会、1・2の3で温泉に入る会北海道支部、あけぼの会北海道支部、
苫小牧・ガンを語る会「イ・ケレ(感謝)」、ピンクリボン in SAPPORO、
日本尊厳死協会北海道支部、NPO 法人市民と共に創るホスピスケアの会

後援：北海道、札幌市、北海道社会福祉協議会、札幌市社会福祉協議会、札幌市教育委員会、
北海道医師会、札幌市医師会、北海道薬剤師会、細胞検査士会北海道支部、北海道対がん
協会、北海道健康づくり財団、北海道新聞、読売新聞北海道支社、朝日新聞北海道支社

協力：北海道がんセンター